

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年9月1日 NO.44 (244)

モンタ博士「国立第七小学校のよい子のみなさん。お久しぶりです。夏休み中は、大きな事故やけがもなく、みんな元気に笑顔で会えて、モンタ博士はとってもうれしいです。いよいよ2学期のスタートだね。」

オー君 「9月1日。今日から2学期だ。またまた学校が楽しみだ！」

花ちゃん 「では、ここでクイズです。次の数字は何のことでしょう。」

72・79・54・さて！何でしょう？ヒントは日をつけるとわかるよ。」



モンタ博士「はてはて？何だろうね・・・。」

オー君 「あ！わかった。1学期・2学期・3学期の学校に来る日にちだ。」

花ちゃん 「ピンポン。そのとおりです。2学期は、とても長いんです。学芸会やわくわく発表会、遠足やいろいろおそろな見学もいっぱいなんです。」

オー君 「つまり、2学期はお楽しみがいっぱいということですね。」

モンタ博士「そうだね。これからは、涼しくなり気候も気持ちよくて、読書・勉強・スポーツ・芸術の秋になるね。」

オー君 「それから、『てくてくの秋』でもありますね。いろいろいっぱい楽しみだ。」

モンタ博士「いろいろな秋があるけど、植物や昆虫などの生き物、風や光、星や水や空気の変化から、秋が来たことを感じてほしいね。」

花ちゃん 「そうですね。モンタ博士がいつも言っているように、カレンダーではなくて、自分の目や耳など、自分の体で感じ取るということが大切なんですね。」

オー君 「そうだね。ところで、モンタ博士！2学期はどんなことをするのですか。」

モンタ博士「そうだね。どうしようかね。みんなは何がやりたいのかな。」

花ちゃん 「わたしは、校庭でいろいろな植物探しや、いろいろな発見をしたいです。」

オー君 「ぼくは、裏庭に虫を採りに行ったり、探検をしたいです。」

花ちゃん 「私は、校庭に咲いているお花をみんなに紹介したいな。」

オー君 「虫を飼ったり、標本を作ったり、あちこちてくてくするんだ。」

花ちゃん 「校長先生といっしょに授業もしたいですね。」

モンタ博士「それは楽しそうだね。モンタ博士からも森田校長先生にお願いしておくね。きっと喜んで授業をしてくれると思うよ。」

オー君 「ところで、モンタ博士は、何かしたいことはないのですか。」

モンタ博士「そうだね・・・言ってしまうかな。発表してしまうかな。」

花ちゃん 「え！どうしたのですか。いつものモンタ博士のようではないですね。何をそんなに遠慮しているのですか。どうしたのですか。」

モンタ博士「あのね、夏休みの間、ずうっと考えていたことなんだけど・・・。

まあ、もう少し具体的になってからね。それまでは待っててね。」

オー君 「え！そんなにもったいぶらずに教えて下さい。モンタ博士。」

モンタ博士「では、発表します！エッヘン！うっふん！みーんな、よーく聞いて下さい。『国立七小検定』をすることにしました。」

花ちゃん 「え！『国立七小検定』？」

オー君 「え！検定？」

モンタ博士「『国立七小検定』というのはね・・・。」

今後を楽しみに・・・